

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会
平成24年度第3回理事会議事録

1. 開催日時:平成24年9月13日(木) 13:00～17:00
2. 開催場所:ANAクラウンプラザホテル神戸 9階「リンデン」
3. 理事現在数及び定足数 :現在数 23名、定足数 12名
4. 出席理事数 :本人出席 15名、出席監事数 :本人出席 2名

会 長	三野 哲治	住友ゴム工業	副 会 長	石井 信成	那須野ヶ原
副 会 長	三治 明	正眼寺	副 会 長	西村 潔	京阪
常務理事	笠原 泰夫	名古屋港・富浜	常務理事	林 一郎	千葉よみうり
常務理事	加藤 義孝	名古屋広幡	常務理事	六車洋二郎	コート・パール徳島
常務理事	久保田英示	正眼寺	常務理事	森 章次	アオノ
理 事	木村 妙子		理 事	久保田誠一	
理 事	小林 弘実		理 事	中元紘一郎	
専務理事	島田 忠次	事務局			(理事15名)
監 事	菅野 孝男	八千代	監 事	大田 英二	北神戸
					(監事 2名)

(陪席者)

顧 問	丸山 信久		事 務 局	中村 知則	事務局
事 務 局	久保 拓二	事務局	事 務 局	野上由美子	事務局
事 務 局	小山内美枝	事務局			

(顧問1名、事務局4名)
5. 欠席理事、監事数 : 9名

常務理事	藤下 亘理	よみうり	常務理事	齋藤 毅	那須野ヶ原
常務理事	西 治彦	八千代	常務理事	小野 和彦	小松
理 事	伊藤 哲夫		理 事	小林 寛道	
理 事	平山 伸子		理 事	雪野 智世	
監 事	豊原 正嗣				(欠席 9名)

6. 会議概要:

- (1)事務局より定足数について、理事会の構成員数は理事23名、監事3名、合計26名である旨の確認と、本理事会には理事15名、監事2名、合計17名の出席を得ている。従って定款第31条に定める成立要件を充足しており、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。
- (2)次いで、三野会長が公益社団法人日本パブリックゴルフ協会平成24年度第3回理事会の開会を宣言した。
- (3)定款第30条に基づき三野会長が議長に就任する旨の宣言、並びに定款第32条に基づき議事録署名人に菅野監事・大田監事を指名し、議場に諮った処満場一致で承認された。次いで、議事進行役に島田専務理事を指名し早速議事に入った。

I. 決議事項:

第1号議案:平成25年度地区決勝全日本開催会場の件

三治事業委員長より、第1号議案「平成25年度地区決勝全日本開催会場の件」について、平成24年度第1回理事会において一部承認済であるが、最終的に各地区より下記の通り推薦があった旨の提案、並びに審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第1号議案を議場に諮った処、出席理事全員一致で可決した。

1. 平成25年度全日本

競技	担当地区	開催会場	開催日程
パ選(男子)	西日本	よみうりウエスト	25.6.19(水)～20(木)
パ選(女子)	中部日本	アリジ	25.6.5(水)～6(木)
ミッドアマ(男子・女子)	西日本	ベアズパウ	25.9.18(水)～19(木)
シニア(男子・ミッドシニア・女子)	東日本	ウィンザーパーク	25.10.16(水)～17(木)

・パ選、ミッドアマは他団体競技の日程を考慮し、上記の日程となった。

2. 平成25年度地区決勝

	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森
パ選 (男子)	(A地区) 紫あやめ36 (千葉県)	グランシエロ (三重県)	(関西) グランドオーク (兵庫県)	随縁・恵庭 (北海道)
	(B地区) 三井の森 (長野県)		(中国) 水島 (岡山県)	
	(C地区) 八千代 (千葉県)		(四国) コート・ベール徳島 (徳島県)	
	—		(九州) トム・ワトソンGC (宮崎県)	
パ選 (女子)	千葉よみうり (千葉県)	グランシエロ (三重県)	武庫ノ台 (兵庫県)	—
ミッドアマ (男子・女子)	(A地区) オールドオーチャード (茨城県)	正眼寺 (岐阜県)	ダンロップ (兵庫県)	ダイナスティ (北海道)
	(B地区) ※よみうりGC (東京都)			
シニア (男子・女子・ミッドシニア)	那須野ヶ原 (栃木県)	森林公園 (愛知県)	米子 (鳥取県)	—
ダンロップ杯	セントレジャー市原 (千葉県)	正眼寺 (岐阜県)	北神戸 (兵庫県)	—
ブリヂストン杯	市原・柿の木台 (千葉県)	名古屋広幡 (愛知県)	姫路シーサイト (滋賀県)	—
グランドマンズリー	新玉村 (群馬県)	名古屋港 (愛知県)	よみうりウエスト (兵庫県)	—
ドリーム・エイジ	下館 (茨城県)	定光寺 (愛知県)	西神戸 (兵庫県)	—

※よみうりGC :メンバーコース

第2号議案:PGS名義後援承諾の件

三治事業委員長より、第2号議案「PGS名義後援承諾の件」について、下記競技及びイベント主催者よりPGS名義後援依頼があり、後援競技会のガイドライン規程第6条により承認した旨の報告、並びに審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第2号議案を議場に諮った処、出席理事全員一致で可決した。

競技・イベント名	主催者
1. 第4回ウッドフレンズレディース アマ・プロ選手権競技 女子アマチュアの部	森林公園ゴルフ場運営株式会社
2. 全日本エイジシューターマスタース選手権 (アマチュアの部)	一般社団法人日本エイジシューター協会
3. 第47回ジャパンゴルフフェア2013	社団法人日本ゴルフ用品協会(JGGA)

第3号議案:平成24年度会議・行事日程一部変更の件

藤下総務委員長欠席につき総務委員会担当事務局(以下同じ)より、第3号議案「平成24年度会議・行事日程の件」は、平成23年度第4回理事会で決定済であるが、平成24年度第2回全国運営委員会の日程を下記の通り変更の旨の提案、並びに審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第3号議案を議場に諮った処、出席理事全員一致で可決した。

また、平成24年度第5回理事会の会場が、青野運動公苑アオノゴルフコース(兵庫県)に決定した旨の報告があった。

1. 平成24年度第2回全国運営委員会の日程変更理由

同委員会は、平成25年2月15日(金)開催予定であるが、社団法人ゴルフ用品協会主催「第47回ジャパンゴルフフェア2013」と日程が重複するため、下記の通り変更する。

	現 状	変 更 後
平成24年度第2回全国運営委員会	平成25年2月15日(金)	平成25年2月16日(土)
第47回ジャパンゴルフフェア2013	平成25年2月15日(金)～平成25年2月17日(日)	

2. (参考)今後の会議日程

会 議 名	開 催 日	会 場
平成24年度スポンサー会議	24. 10. 18(木)	西神戸ゴルフ場(兵庫県)
第3回常務理事会 第4回理事会	24. 11. 8(木)	メルパルク名古屋(愛知県)
第2回全国運営委員会 (旧:予算編成正副委員長会議)	25. 2. 16(土)	東京ビックサイト(東京)※
第4回常務理事会 第5回理事会	25. 3. 14(木)	青野運動公苑アオノゴルフコース(兵庫県)

(注)第2回全国運営委員会は、八重洲ホールから東京ビックサイトに会場変更

(参考)平成25年日本ゴルフサミット会議新年会 :平成25年1月11日(金)

第4号議案:臨時社員総会開催の件

総務委員会担当事務局より、第4号議案「臨時社員総会開催の件」について、藤下理事(常務理事・総務委員長)より退社に伴い辞任届が提出されたが、定款第13条、並びに第14条に基づき下記の通り臨時社員総会を開催したいとの審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第4号議案を議場に諮った処、出席理事全員一致で可決した。

- 開催日 平成24年10月18日(木) (注)全日本シニア選手権2日目
- 開催場所 西神戸ゴルフ場
- 議題 理事の解任及び選任の件

第5号議案:三野会長の対外職務の件

総務委員会担当事務局より、第5号議案「三野会長の対外職務の件」について、会長の交代に伴い理事会規程第10条に基づき、三野会長(代表理事)の対外職務引継ぎに関して審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第5号議案を議場に諮った処、出席理事全員一致で可決した。

(引継対外職務)

1. 日本ゴルフサミット会議 :当協会代表
2. 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 :理事
3. 日本ゴルフ関連団体協議会 :理事・副会長
4. NPO法人日本ジュニア育成協議会 :理事

第6号議案:全国運営委員会決定事項の件

総務委員会担当事務局より、第6号議案全国運営委員会決定事項の件について、平成24年度第1回全国運営委員会(平成24年8月24日メルパルク名古屋)が開催された旨の報告があり、引き続き各委員会委員長より決定事項に関して報告、その後審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第6号議案を議場に諮った処、出席理事全員一致で可決した。

【決定事項要旨】

(1) 総務委員会(担当事務局)

広報活動は、従来通り事業委員会が広報委員会を所管する旨決定した。

(2) 笠原財務委員長

PGS会員登録料の各地区返戻金見直しについては、現状通り1名当たり700円で決定。

次いで事務局より、平成25年3月パブリック選手権エントリー期間中に、今年ゴルフネットワークで放送したパブリック選手権の再放送を実施し、集客に繋げたいとの提案があった。本年度の収支状況を勘案の上、別途議論することとなった。

(3) 三治事業委員長

①アンダーハンディ競技(スポンサー杯/ハンディ杯)の集客増加策について

平成25年度以降も、原則PGS登録会員を対象とした公式ハンディキャップ競技として開催することを決定。

但し、PGS登録会員数が少ない等の理由のある会員コースに限り、救済策としてPGS非会員を対象とした新ペリア部門の開催も認める旨を決定した。新ペリア部門開催の条件は

- 1) 開催希望コースは、事前に各地区連絡協議会事務局の承認を得る。
- 2) 新ペリア部門の開催要項、スタート表等、参加選手への案内から「PGS」の冠を外す。
- 3) 参加資格は「JGA/USGAハンディキャップインデックスの取得を目指す全てのアマチュアゴルファー」と、開催要項等に明記する。

②賛助会員「株式会社レオパレス21」との連携について

レオパレス21はガムに36ホールのレストランリゾートカントリークラブを所有。同CCを会場としてパ選ガム大会の開催、並びにPGS登録会員を対象とした競技会、もしくはイベントを開催したいとの提案を受けたが、公益法人である当協会が賛助会員とは言え、1企業に対して、パ選の開催枠を認めると現正会員コースを含め、将来的には問題が生ずる懸念があるとの判断から、現状では受け入れ困難と決定した。

本提案を実現させる為に1企業としてではなく、然るべき公的な団体を通して申請してきた際には、別途協議し決定するとの結論。

③北海道・青森地区選手権競技について

平成22年度事業・競技・HDCP 合同委員会にて、パ選200名、ミッドアマ150名を目標に掲

げ、2年後に再議論ということであったが、集客実績は目標には届いていない。然しながら、当該地区会員コースから今後も現状通り開催したいとの要望方々、前年度比では両競技とも参加者数が増加していることを勘案し、平成25年度以降も従来通り開催する旨決定。

④本年度調査研究事業「ゴルファーの動態調査」の件について

本調査研究事業のアンケート調査実施日を、10月25日(木)と10月27日(土)に決定した。

この調査は、ゴルフ界にとって初のレポートとなる可能性が大であり、地区・会員コース別ゴルファーの行動範囲の相違、どの地区に競技ゴルファー、HDCP取得者が多くいるか、またそのイメージ等各会員コースにおかれても、貴重な営業サポート・レポートになる様目指している。会員コースには、調査実施日の2日間のご苦勞をお掛けするがご協力願いたい。

なお、調査委託会社からは回収枚数よりも、アンケートの回収率が重要であり、回収率7割を実現出来ればより良い結果が導き出されるとの報告がある。各地区事業委員会が中心となって、各コースに周知徹底して頂きたい。

(3)石井競技委員長

①全日本パブリック選手権の3日間競技化について

全日本パ選を3日間競技に拡充する理由は、世界アマチュアランキング対象競技の認可であるが、現状ではその可能性は未知であり、平成25年度も従来通り2日間競技で開催する旨決定。

②中部日本地区女子パブリック選手権の開催方法変更について

中部日本女子パブリック選手権は中部地区の特殊事情を考慮、平成25年度より予選を廃止地区決勝を2日間36ホールストロークプレーにて開催する旨決定。

③平成25年度東日本ミッドアマ地区決勝会場の件

平成23年度東日本ミッドアマB地区決勝を、東京よみうりカントリークラブにて開催し、過去3年におけるエントリー選手の動向を分析した結果、参加者増加に効果的であったと判断された。これを受け東日本地区参加者数の減少傾向に歯止めをかける意味で、平成25年度東日本ミッドアマ地区決勝を、メンバーコースであるよみうりゴルフ倶楽部で開催したいとの提案があり承認された。

④PGS選手権2日間競技の成績上位者決定方法について

ルール変更があり、当協会競技も平成25年度より新ルールに沿って成績決定する旨を決定。

(4)西村HDCP委員長

①新システム「J-sys」の対応方法について

HDCP委員会にて別途協議し、決定する旨ご報告。HDCP委員会は、昨年配布したHDCP運営マニュアルによる管理を引き続き行っていく点、また規定に基づきHDCPを年2回必ず発行するよう各コースに周知徹底願いたい。

【質疑応答】

島田理事:レオパレスのその後の動向は如何か。

事務局:レオパレスに全国運営委員会の決定事項を報告した結果、経過報告だがレオパレスはグアム観光局に働きかけを行うと聞いている。

森理事:J-sysHDCPの件だが、西日本地区は毎月1日のHDCPを使用するとしているが、他地区はどうなっているのか。

西村副会長:全国的には、競技会開催時点のHDCPで競技開催しているとの認識。

森理事:毎日変わるHDCPでは事務方では対応できないので、西日本地区は現状方式で行う。

事務局:地区毎にHDCPの確認方法が違うのは事実。すぐに全国統一するのは難しいが将来的には統一すべき問題。現時点では各地区競技委員長の判断に任せたい。

第7号議案:新規入会賛助会員[Phoenix Japan(株)]の件

総務委員会事務局担当より、第7号議案「新規入会賛助会員[Phoenix Japan(株)]の件」について、Phoenix Japan株式会社より入会申込書(賛助会員)の提出があった旨の報告後、審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第7号議案を議場に諮った処、出席理事全員一致で可決した。

1. 新規入会賛助会員

Phoenix Japan株式会社	所在地	東京都千代田区九段北1-9-5-516
	代表者	代表取締役社長CEO 矢澤 昇治
	会員代表者	代表取締役社長CEO 矢澤 昇治
	事業概要	1.鉛蓄・アルカリ電池の再生処理技術の提供 2.鉛蓄・アルカリ電池の再生処理装置の製造・販売・保守・修理 3.電池に関連する業務一般 (詳細は、定款及び現在事項全部証明書参照)

1. 入会日 :平成24年9月13日(木)

2.入会金、年会費は「入会・退会に関する規程」に従い下記の通り

入会金 :50千円

年会費 :(1)平成24年度年会費:100千円[200千円×6/12(月割り)]

: (2)平成25年度以降:規定額200千円

II. 報告事項

第1号議案:平成24年度シニア参加申込人数の件

三治事業委員長より、第1号議案「平成24年度シニア参加申込人数の件」について、平成24年8月20日時点でシニア1,559名、女子シニア314名、ミッドシニア951名、合計2,824名という結果となった旨の報告があった。また、平成24年度3選手権競技参加人数、並びに予算対比について報告があった。

1.平成24年度3選手権競技参加申込人数

単位:人

	男子	(前年度比)	女子	(前年度比)	ミッドシニア	(前年度比)	合計	(前年度比)
パ選	6,273	▲ 40	784	+ 22	—	—	7,057	▲ 18
ミッドアマ	5,060	▲221	556	▲ 67	—	—	5,616	▲288
シニア	1,559	▲ 72	314	▲ 68	951	▲73	2,824	▲213
合計	12,892	▲333	1,654	▲113	951	▲73	15,497	▲519

2.(参考)3選手権競技参加人数と予算対比

単位:人/%

	参加人数(A)	予算(B)	差異(A-B)	前年度実績	増減	増減率
パ選	7,057	7,100	▲ 43	7,075	▲ 18	▲ 0.3
ミッドアマ	5,616	5,900	▲284	5,904	▲288	▲ 4.9
シニア	2,824	3,050	▲226	3,037	▲213	▲ 7.0
合計	15,497	16,050	▲553	16,016	▲519	▲ 3.2

第2号議案:シニア地区決勝全日本エントリー枠割当の件

三治事業委員長より、第2号議案「シニア地区決勝全日本枠割当の件」について、シニア開催コース(西神戸ゴルフ場)の感触を勘案し、エントリー人数185名、競技別内訳はシニア94名、女子シニア33名、ミッドシニア58名と、他競技並みの人数とした。女子シニアの全日本エントリー枠は、ミッドアマと同様な問題が生じたが、ミッドアマの考え方を踏襲したとの報告

があった。

1. 地区決勝 :各地区競技委員長の裁定による

2. 全日本

単位:人

1. エントリー人数	男子シニア 94 女子シニア 33 ミッドシニア 58 (合計 185)	2. 地元開催枠 (10%:西日本)	男子シニア 9 女子シニア 3 ミッドシニア 6 (合計 18)
3. シード選手	男子シニア 1 ミッドシニア 1 (合計 2)	4. 一般枠	男子シニア 84 女子シニア 30 ミッドシニア 51 (合計 165)

注)1. エントリー人数:2日間競技・日没時間を勘案し185名とした。

2. 女子シニアエントリー人数:ミッドアマの考え方を踏襲、地元開催枠・シードを含み33名

3. 地区別全日本エントリー枠

単位:人

	男子シニア				女子シニア				ミッドシニア				計
	東	中	西	合計	東	中	西	合計	東	中	西	合計	合計
開催地枠	0	0	9	9	0	0	3	3	0	0	6	6	18
シード	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2
一般枠	31	26	27	84	13	8	9	30	16	16	19	51	165
合計	32	26	36	94	13	8	12	33	16	17	25	58	185

第3号議案:平成24年度関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権参加申込状況の件

三治事業委員長より、第3号議案「関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権参加申込状況の件」について、平成24年度は男子21名、女子13名の合計34名の申込があり、前年度比較で男11名減、女子3名増加、合計8名の減少となった旨の報告があった。

第4号議案:平成24年度調査研究事業の件

三治事業委員長より、第4号議案「平成24年度調査研究事業「ゴルファーの動態調査」の件」について、実施概要の報告方々各会員コースに協力依頼があった。

(実施概要)

1. 調査日 :平成24年10月25日(木)、及び27日(土)の2日間
2. 調査票 :A4 1枚
3. 調査対象者 :上記調査日の会員コース全来場者
4. 調査結果 :分析結果を23表に集計

第5号議案:寄附金受入の件

笠原財務委員長より、第5号議案「寄附金受入の件」について、前回理事会以降の受入報告がなされた。

寄附金受入状況 : 受入件数7件/寄附金額 計200千円

(参考)寄附金受入累計額(平成22年度～) 40件/計1,197千円

第6号議案:関西GMAC委員任命並びにセミナー開催の件

総務委員会事務局担当より、関西GMACセミナー開催に関して報告があった。また、関西GMACは本年4月に立ち上がり、以降毎月開催され定着化してきている実状を踏まえ、関西GMACの委員任命に関して提案があり、下記3名、並びに後日更に1名追加で了承された。

1. 関西GMACセミナー:10月1日(月)「ゴルフ産業の現状と打開のヒント」
2. 関西GMAC委員 :西村副会長、森常任理事、浅田支配人(北神戸)、他1名(後日追加)
3. 同オブザーバー :事務局(適宜)

第7号議案:行政庁(内閣府)監査対応の件

島田専務理事より、第7号議案「行政庁(内閣府)監査対応の件」について、行政庁(内閣府)監査は、公益法人認可後概ね3年以内に初回の監査が実施される見込みであり、事前チェック事項に関して報告があった。

第8号議案:平成24年度内部監査基本計画書の件

菅野監事より、第8号議案「平成24年度内部監査基本計画書の件」について、前議案に関連して平成24年度内部監査基本計画書を策定したとの報告があった。

第9号議案:職務執行状況報告の件

島田専務理事より、第9号議案「職務執行状況報告の件」について、一般法第91条2項の代表理事及び業務執行役員は、職務執行状況を3ヵ月に1回以上理事会に報告する義務を負うとの定めに従い、三野会長(代表理事)、並びに業務執行役員より順次報告があった。

三野会長:社員総会の役員改選を受け内閣府に対して定例報告、役員変更報告、並びに役員登記を完了した。またゴルフダイジェスト社、一季出版よりインタビューを受けた。

笠原財務委員長:社員総会で承認を得た予算に従い、清々と執行を進めている。3選手権競技の参加人数は予算対比マイナスであり、本年度決算もかなり厳しい、つまり赤字決算となる見込み。

三治事業委員長:①シニア選手権、アンダーハンディ競技を含めた競技参加者増加のため、各予選コースに対して集客を依頼。②PGS 登録会員数増加の依頼。③全国運営委員会に事業委員会関連議案を提案し、先程の説明の通り各議案を決定。④6月に収録した全日本パ選の様様をゴルフネットワークにて5回放映。視聴率は平均0.55%、最高0.94%を記録し上々の結果。全国運営委員会にて、来年のパ選エントリー期間中(3月)に集客に繋げるべく再放送を提案した旨の報告あり。

石井競技委員長:全国運営委員会にて計4議題を提案、先程の報告の通り各議題を決定した。また、平成25年度東日本地区ミッドアマ地区決勝を、メンバーコースのよみうりゴルフ倶楽部で開催したいとの提案があり、先月上旬に東日本地区競技委員会としてコース視察に行ってきた旨の報告あり。

西村HDPC委員長:コースレーティング公表に関して、地区連盟によって査定後直ちに公表する連盟もあれば、2014年まで公表を行わないとする連盟もあり、統一がなされていない。直ちに公表されないと、新規取得コースの場合、HDPC 取得者を募集することが出来ないし、アンダーハンディ競技も行えない。改善のため日本ゴルフ協会(JGA)に対して、公表は直ちに行う様依頼文書を発信。その後、JGA と地区連盟との間で話し合いが持たれ、全ての地区連盟で査定後直ちに公表するよう統一されることとなった旨の報告あり。その他、HDPC 運営・管理の徹底、HDPC 取得者増加に関して、各会員コースに依頼中である。

なお、本理事会欠席の藤下理事(常務理事・総務委員長)より、「報告事項通知書」の提出があった旨報告がなされた。

以上を以って、平成24年度第3回理事会の全議案を審議し、何れも原案通り承認された旨の報告後、その他の質疑応答があった。

7. 閉会挨拶

次いで、三野会長より閉会挨拶があった。

8. 閉会宣言

三野会長が、平成24年度第3回理事会の閉会を宣言し終了した。

以上

上記の議事を確認するため、議長及び議事録署名人は、次の通り署名押印する。

平成24年9月24日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会

議 長 三 野 哲 治 印

議事録署名人 菅 野 孝 男 印

議事録署名人 大 田 英 二 印